

# 鶴岡のお米お届けいたします

(株)アシスト  
2022.6月号



播種作業(種蒔)から約1ヵ月、アシストでは5/8に田植作業を開始しました。通常、田植は苗を植える為の土壌を作る「代掻き」作業を終えてから田植を行います。アシストで管理している圃場は平均、4枚から5枚の圃場が20箇所以上、広範囲に及ぶ為「代掻き」作業と田植を同時進行で行い、無事終わる事が出来ました。



昨年と同様、青いビニールシートと木枠で作った土台に水を溜め、育苗箱を並べた「プール育苗」です。ハウス内で温められた水温が育苗中の朝晩等の気温差を和らげ生育させます。種蒔から14日目の成長です。4/25撮影



5/8、試運転を兼ね、田植えが始まりました。この日はあいにくの曇り空で、少し肌寒い気温の中での作業となりましたが、5/22の最終日まで天気に恵まれ、事故無く無事に終わる事が出来ました。田んぼに張られた水から反射される紫外線の強い太陽の日差しがまともに照りつけられた作業員は言うまでも無く日に焼け、一日の作業終りの時間には冷たい飲み物と、甘いお菓子でクールダウンしてから帰宅の15日間、早朝から夕暮れまで本当にお疲れ様でした。

田植え作業時期に請負で無人ヘリでの直播作業も数日行われました。現地での集合時間は朝4時頃の為、暗い時間から家を出、澄んだ空気を体内に取り入れ、朝日様を迎えてから作業開始(写真右)。写真左は種籾を機体から田んぼに直接蒔く光景です。

この日は晴天で鳥海山も綺麗に見えていました。5/6撮影



✓ 田の水面の凹凸は種籾が機体から蒔かれている状態です

鶴岡のお米

お召しあがり下さいませ

農作業の様子や庄内、鶴岡を独自のコメントで毎月発行するチラシでお届けしています

生産者 株式会社 アシスト

